授業科目(ナンバリング)	専門基礎学習Ⅱ(N4H333)			担当教員	長岡 寛明・縄田 陽子・中島 健輔・黒川 健児		
展開方法	演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	3 年・通年	必修・選択	必修

授 業 の ね ら い	アクティブ・ラーニングの 類 型
「専門基礎学習Ⅱ」は、基礎学力向上と学生の自主性・連携を育み、薬剤師としての資質を醸成するための総合的学習とする。	②④⑨⑩

ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標	評価手段・方法	評価比率
専門力	薬学を学ぶ上で必要な多くの基礎科目の知識を理解する。	基礎学力試験（CAI、3 回）	80%
情報収集、分析力	薬学を学ぶ上で必要な多くの基礎科目の情報を収集する。	基礎学力試験（CAI、3 回）	10%
コミュニケーション力	主体性を持って学習すると共に、学んだ知識を分かりやすく説明できるようになる。	CAI 学習･CAI 補習の態度	10%
協働・課題解決力	他者との連携・役割分担について関心を持てるようになる。	CAI 学習･CAI 補習の態度	
多様性理解力	薬学を学ぶ上で必要な多くの基礎科目間の繋がりを理解する。	基礎学力試験（CAI、3 回）	

出　　席	受験要件
合　　計	100%

評価基準及び評価手段・方法の補足説明

基礎学力試験（CAI、3 回）は、各回の試験範囲・試験時期に応じたポイント制による評価を行う。CAI 学習・CAI 補習の態度は指定された課題の達成度を評価する。基礎学力試験の成績はポートフォリオ等でフィードバックする。

授 業 の 概 要

基礎学力試験（CAI、3 回）を通して基礎学力向上と学生の自主性・連携を育み、薬剤師としての資質を醸成する。
基礎学力試験の直前に CAI 学習を行うとともに、試験結果で判明する苦手科目の克服に向けた問題演習に取り組む。
この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分です。

教 科 書 ・ 参 考 書

教科書、参考書、指定図書：別に指示する。

授業外における学修及び学生に期待すること

医療人としての志を立て、倫理(ルールや規範)を身に付け、日々の誠実な学びによって豊富な知識・知恵を修得し、卒業後には修得した学術を実行し、社会に貢献することが肝要である。幕末の指導者である佐藤一斎はこれを「立志」「励行」「遊芸」と教えている。将来、社会の現場で活躍する自分をイメージして、真摯に取り組んで欲しい。基礎学力試験の試験範囲は事前に掲示するが、前学期までの履修科目からの出題であり、CAI 課題で提示される問題から出題される。学んだことを忘れないように定期的に復習する学習習慣を身に付けることが、この科目の目的の 1 つであり、学生に期待することである。2 年次迄に行ってきたグループ学習のコンセプトを尊び、他者との連携も図って欲しい。いずれの要素にも秀でた薬剤師として成長できるよう、自らを鍛錬して欲しい。

回	テ　ー　マ	授　業　の　内　容	予習・復習	到達目標番号*
1	オリエンテーション CAI 学習	「専門基礎学習Ⅱ」のねらいを説明する。 4 月 CAI 試験の結果を受け、CAI 課題の演習を行う（黒川・長岡・縄田・中島）	課題分野の復習をしておく。	
2	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・長岡・縄田・中島）	2 年生までの履修科目を復習しておく。	
3	基礎学力試験① ※土曜午後	CAI 試験①（5 月 21 日予定）	試験範囲は 2 年生迄の物化生の 3 分野。	
4	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・長岡・縄田・中島）	3 年前期までの履修科目を復習しておく。	
5 6	基礎学力試験② ※土曜午後	CAI 試験②ゾーン 1（10 月 1 日予定）	試験範囲は 3 年前期迄の物化生･衛生･薬理	
7	CAI 補習	CAI 試験②の結果を受け、苦手科目の克服に向けた CAI 課題の演習を行う（黒川・長岡・縄田・中島）	課題分野の復習をしておく。	
8	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・長岡・縄田・中島）	3 年前期までの履修科目を復習しておく。	
9 10	基礎学力試験③ ※土曜午後	CAI 試験③（12 月 10 日予定）	試験範囲は 3 年前期迄の物化生･衛生･薬理	

注）上記の第１回～第８回は、授業の概要を示したもので、講義の回数・順番は変更される場合があります。
この他に苦手科目の克服に向けた CAI 課題の演習（CAI 補習）を実施します。